

地域おこし協力隊通信

第58回



リポーター…
小林正英 隊員



左から原市長、針ヶ谷さん、宮崎さん

こんにちは！潮来市地域おこし協力隊の小林です。今回は、地域おこし協力隊インターン制度を活用した「アーティスト・レジデンス」事業についてお話しします。

アーティスト・イン・レジデンスとは、アーティストが一定期間、地域に住み込み、創作活動をするというものです。潮来市では、地域おこし協力隊の短期間版である地域おこし協力隊インターン制度を活用し、この度2月18日に、協力隊インターン生として、宮崎桜（みやざきさくら）さんと針ヶ谷水袖（はりがやみゆ）さんが着任され、21日に市長室にて委嘱式が行われました。原市長から委嘱状を受け取ったお二人、宮崎さんからは「潮来市で制作できることを楽しみにしていた。見ていて癒されるような作品、皆さんに愛される作品を作れるように頑張りたい」と、針ヶ谷さんからは「潮来市の街並みや自然を感じながら過ごしていききたい」とそれぞれ抱負を話してくれました。

彼女たちが取り組むテーマは「陶芸」。日々創作活動に取り組みながら、2月24日と3月2日には、市民向けのワークショップも開催し、子どもから大人まで7名の方がご参加くださいました。24日は「ひと」をテーマに自由に陶芸作品を創作。乾燥と素焼きを経て、3月2日に絵付けをし、その後本焼きが行われました。

完成した作品は、3月17日から31日まで、道の駅いたこで展示する予定です。私もまだ完成品を見れていないのですが、市外から来たインターン生が潮来で感じたことが作品に詰まっていることと思います。また、ワークショップにご参加いただいた方の作品も展示しますので、ご興味のある方はぜひお越しください。展示の詳細は、地域おこし協力隊のFacebookで発信します。

地域おこし協力隊インターン制度の活用は県内初。今回の運用をきっかけに、市外の人にとっての潮来への関わりしるになればと思っています。引き続きご協力よろしくお祈りします。

